2020年12月8日			
差枚	+607枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ ラブ嬢2、交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO

実戦レポート

昨年の2月以来となった先月の参戦は、朝イチの抽選人数から稼働状況から高設定の投入機種まで、全てがとまどうことばかりで、店内の設定状況的には満足できるものだったけれど、オレ自身としては不完全燃焼の内容だった。しかも大好きな機種の高設定が空いていたというのに、それを見逃したまま終わるというね…。
しかし、たとえ1回だけの経験だとしても、先月の反省を踏まえて立回ることができる今回は、もっと高設定に近付けるハズだ！　そう信じて押した入場抽選は、哀しみの3桁表示の「105番」。再整列をしたら全体の人数は少し減ったものの、ガッチガチの最後尾じゃねーか!!　これ以上ない悪条件からスタートです。

当然ながら、高設定が入りそうな人気機種は売り切れており、となると全台系狙いの第二候補としての定番となっている少数台機種から、競争率はそれほど高くなく、それでいて高設定が使われてもおかしくないような、そんな絶妙な機種を探して…ん～やっぱりコイツか、「ラブ嬢2」。先月と全く同じ機種だが、先月がハズレだった分、今度こそ当り機種になるかもしれない。そんな淡い期待込みで打ち始めると、投資2Kで早々に初当りを引いて、しかもどうやらサービスタイムが裏モードを選択されたらしく、連チャンが予想以上に伸びて1000枚弱の出玉をゲット！　メダル持ちが優秀な6号機としては最高の立ち上がりだぜ！　これだけあれば、持ちメダルのうちに台の良し悪しを判断できるだろ。ということで続行すると、それから何回か初当りを重ねて、各周期でのステージ・モードの選択率も監視して、慎重に検討した結果…今回もダメだぁ～。

と、オレが悠長に1台目を判断しているうちに、常連の若い子たちの間では「本日の全台系機種」と「当り末尾」が早くも見当がついてしまった模様。まぁ、そのうちの一つ「SLOTまどか新編」はオレが見ても明らかに全台系の雰囲気バリバリだからな…。
で、半ばヤケクソ気味に選んだ2台目が、前回悔しい思いが残っている「エウレカ3」である。2台機種ながら高設定投入率が高く、前回が不発だったので今回ももしかしたら…と淡くて薄い期待のみで打ち始めると、悪展開で空き台になっていた台の割には初当りがそこそこ調子よく引けて、何回目かのボーナス終了画面ではキラリと光る銅トロフィーが出現。この銅が、いずれ金やキリンまで昇格してくれれば…！　と、高望みをし始めた途端に「そんなわけねぇだろ！」と現実が押し寄せてきて、^それまで順調に増やせていた持ちメダルもきっちりと激減。幸い、投資がごくわずかで済んでいたことだし、プラスのうちにヤメとこうか。これぞB級だね。